

平成28年度事業計画

平成28年度に予定している事業は、下記のとおりである。

1. 所蔵資料等の調査研究とその成果の発表
2. 資料の収集・整理・保管、修理保存
3. 資料の公開・展示等
4. 一般および青少年を対象とした教育普及活動

<公益目的事業>

I. 社会経済史・経営史関連事業

1. 三井に関する歴史研究の拠点としての役割を果たすべく、研究員各自の調査研究（* a）を一層深め、外部研究者の参加も得て各種研究会や史料輪読会を定期的に行き、それらの成果を、「三井文庫論叢」（第50号）や外部の論集・研究雑誌などで発表し、また、学会・外部研究会などで報告する。
 - * a 三井を中心とする、江戸時代における商業史・金融史・制度史の研究、明治以降の経済史・経営史の研究など。
2. 三井関係資料（* b）の調査・収集を進める。
 - * b 近世では、三井同族・奉公人関係、取引先関係など。近代では、三井銀行関係、旧三井物産関係（在米、在豪資料を含む）、三井鉱山関係など。
3. 資料保存のため、資料保管環境の整備や、貴重資料の複製画像作成（* c）を進める。
 - * c 旧三井物産資料、三井鉱山資料のスキャニングなど。
4. 未整理資料の整理と公開準備（* d）を進める。
 - * d 旧三井物産資料、三井鉱山資料など。

なお、平成28年11月に旧三井物産資料の公開（追加公開）を予定。
5. 史料公開体制の充実に努め、利用者の利便性向上のため、所蔵資料目録データベースの整備とそのWEB公開を進める。
6. 所蔵資料・刊行物などの電子文書化とWEB公開に取り組む。
7. 所蔵資料の中から一般的に史料価値の高いものを翻刻刊行する「三井文庫史料叢書」のうち、大坂両替店「聞書」第二巻の刊行を予定。
8. 戦後の三井関連事業などについてのヒアリングを行う。
9. 三井文庫WEBサイト（ホームページ）の充実をはかる。
10. 歴史資料の収集・保存・公開・研究に携わる国内外の諸機関・専門家との経験交流、情報共有、共同研究などに取り組む。
11. 三井グループ各社の資料保存や歴史研修などの取り組みに協力をする。

12. 社会への研究成果の普及ならびに資料保存啓発のため、講演会など一般向けの活動に取り組む。

II. 文化史・美術館関連事業

● 文化史関係（資料の保管整理研究事業）

1. 美術館（三井記念美術館）の収蔵庫、別館（三井文庫別館）の収蔵庫・展示室改造の保管室、三井倉庫（辰巳）、以上三か所に分散保管する収蔵品につき、保管場所の固定化と、管理台帳への記載、管理要項の作成、定期的な実査の実施などについて、数年内の完成実施を目標に作業を進める。

美術品の移送にあたっては、美術品専門の運送業者に依頼し、細心の注意を払う。なお、修理・定期的手入れを必要とする資料（* e）については、専門業者や専門家に依頼し、修復・保全を図る。

* e 掛軸、巻物、漆工品、刀剣。

2. 美術館（三井記念美術館）および別館（三井文庫別館）の収蔵庫・展示室内の環境を適切に管理し、保管に万全を期す。特に美術館の収蔵庫・展示室に関しては、温湿度の管理を徹底し、空調設備の改善・微調整を行う。また、収蔵庫内の有毒ガスなどの測定を定期的に行う。さらに、美術館展示室の燻煙による害虫の駆除、別館収蔵庫・展示室のガス燻蒸による、害虫およびカビの駆除なども状況に応じて実施する。

3. 館蔵資料およびそれに関する資料、展覧会に関連するテーマについて、必要に応じて外部研究者の協力を仰ぎながら、調査研究を進める。内外利用者の便宜を図るため、コンピューターによる所蔵資料目録の作成・整理を進める。

また、並行して研究員各自の調査研究（* f）を一層進める。

* f 日本文化史、茶道美術史、陶磁史、絵画史、書跡史、漆工史、仏教美術史、神仏習合美術史等。

4. 三井美術文化史論集第10号を発行する。
5. 学会・大学・研究機関などの研究会等を受け入れ、研究活動を行う。
6. 他の美術館・博物館の展覧会等に対し、資料の出品協力を行い、学術文化の振興に寄与する。

● 三井記念美術館（資料の公開事業）

1. 平成28年度は、三井記念美術館の展示室において、次の5期に分けて展覧会を開催する。
（年間開館日数259日間）

○ 『三井家のおひなさま／特集展示 三井家の薩摩焼』

平成28年4月1日（金）～4月3日（日） 開館日数：3日間

* 館蔵品による展覧会

- ① 『特別展 ユネスコ無形文化遺産登録記念 北大路魯山人の美 和食の天才』
平成28年4月12日(火)～6月26日(日) 開館日数：67日間
- ② 『特別展 アール・ヌーヴォーの装飾磁器 ヨーロッパ名窯 美麗革命!』
平成28年7月6日(水)～8月31日(水) 開館日数：50日間
- ③ 『特別展 松島 瑞巖寺と伊達政宗』
平成28年9月10日(土)～11月13日(日) 開館日数：56日間
- ④ 『特別展 国立劇場開場50周年記念 日本の伝統芸能展』
平成28年11月26日(土)～平成29年1月28日(土) 開館日数：48日間
- ⑤ 『三井家のおひなさま／特集展示 三井家の別荘・城山荘の思い出』
平成29年2月18日(土)～3月31日(金)(4月2日迄) 開館日数：35日間
*館蔵品による展覧会

(注) 展覧会名、開催期間等一部変更を生じる場合があります。

- 2. 美術品の貸出・借用にあたっては、管理・手続きを厳格に行い、事故防止の徹底に努める。
- 3. 上記展覧会のうち、①と②と③と④の展覧会では展覧会図録を発行する。
- 4. 展覧会に併せ、関連事業として、講演会・講座等を実施する。
- 5. 一般および青少年・学生等を対象として、学芸員および教育普及担当による展示解説・講演・講義等、教育普及活動を行う。
- 6. 教育普及活動として、以下の活動を行う。
 - ① 小中学生を対象としたワークショップ(体験型の学習会)および鑑賞会
 - ② 中学生以下の子どもと保護者の方を対象とした“家族でたのしむ こどもびじゅつかん”の実施
 - ③ 青少年向けの展覧会ワークシートや小冊子の発行
 - ④ 都内を中心とした小・中学校の教職員対象の研修会
 - ⑤ 教育機関の研究会等の受入
 - ⑥ 都内の教育機関からの要望に基づく出張講座の実施
 - ⑦ 教育普及事業の報告集を作成する
- 7. 大学授業との連携を図り、授業内容に関連した展覧会に関しては、学生の見学を受け入れる。
- 8. 美術館の運営およびPR面において、つぎの課題に取り組む。
 - ① 各展覧会の開催に合わせて記者説明会、内覧会、特別観賞会を実施すると共に、季節に応じて、開館時間の延長(ナイトミュージアム)の実施を検討する。
 - ② 東京駅周辺の3美術館(出光美術館、三菱一号館美術館、東京ステーションギャラリー(ブリヂストン美術館は長期休館中))と連携し、当館を含めた4館を鑑賞回遊していただくためのツールとしてマップと各館の展覧会スケジュールを掲載したリー

フレット「東京駅周辺美術館MAP」を、年2回共同発行する。また4館に1回ずつ入館できる「東京駅周辺美術館共通券」を1部2,500円、各館1,000部限定で販売し、相互に入館者の促進に努める。その他、4館タイアップイベントを展開する。

- ③ 当館の普及広報活動の一環として「東京・ミュージアムぐるっとパス2016」に参加する。
- ④ 集客強化対策として、JR東日本「大人の休日倶楽部」等の有力会員組織との連携関係を強化する。
- ⑤ 来館者のリピーター化の促進および新しい来館者層を開拓するため、つぎの方策を講じる。
 - ・ミュージアム パスポート2016を発行する。また、東京駅周辺の3美術館（出光美術館、三菱一号館美術館、東京ステーションギャラリー（ブリヂストン美術館は長期休館中））と連携し、各館の会員組織（当館はパスポート所持者）を対象に、入館料の相互割引を行う。
 - ・来館者アンケートを継続して実施し、そのフィードバックにより、顧客満足度の高いサービスの提供に努める。
 - ・ミュージアムショップ、カフェにおいては、テーマ性や季節感のある演出を心掛けるとともに、オリジナルグッズやメニューの開発を進める。
- ⑥ 近隣の商業施設・ホテル・美術館などのほか、行政および地元との関係を緊密にし、中央区主催のイベントへの参加や区民へのレクチャー等、日本橋地区の活性化に寄与する。
- ⑦ 日本橋室町地区の商業集積度の向上に合わせ、外国人来館者等への対応を進める。
- ⑧ 三井グループ各社へのインナーキャンペーンを強化し、「賛助会社社員・家族特別招待会」、「賛助会社部門長特別招待会」、「賛助会社社員招待会」、「賛助会社女性社員招待会」等を定期的に開催し、各社新入社員研修等の受け入れを促進する。
- ⑨ 賛助会社の関係者ご招待など、美術館閉館後の貸切特別サービスを継続して行い、さまざまなニーズにできる限り柔軟に対応する。
- ⑩ 展示照明機器、空調関係設備機器の更新などを検討・実施する。
- ⑪ 民間美術館向け東京都の支援事業である「外国人旅行者の受入環境整備支援事業」について検討を開始し館内の諸整備を進める。

Ⅲ. 松の茶屋保存公開事業

今年度も箱根町と協議の上、引き続き「文化財探訪会」での公開とともに、建築、茶道等関連学会等の見学会や外部講師を招いた研究会を検討する。

修繕工事についても、引き続き、屋根関係等の工事を行う予定である。

<収益事業>

I. 不動産賃貸業

三井花桐ビル1階101号室は昨年7月に解約となったが、その後新規テナントが決まり、現在は満室となっている。今年度の修繕工事は、中性能フィルター交換工事・積算電力量計更新工事等を実施する予定である。

以 上